



入間ロータリークラブ



Weekly Report

2013-2014 R I 会長：ロン D. パートン
 R I 第 2570 地区ガバナー：中井 眞一郎
 会長：友野 政彦 幹事：西山 祐三
 例会日：木曜日 12：30～13：30
 例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケット・ホール
 Tel.04-2963-1111

会報委員長：関谷 永久 当番：齋藤 金作
 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイソ斎竹 101 号
 Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788
 Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 15 号 2783 回例会 2013 年 10 月 17 日 (木)

●●● 会長の時間

友野政彦会長

一昨日から昨日にかけて大型で強い勢力を持った台風 26 号の記録的な大雨で、伊豆大島では死者 17 名、安否不明 43 名という甚大な被害が出ております (今朝の時点で)。多くの尊い命が失われたことに心が痛みます。今年には台風の発生件数が 19 年ぶりに 30 を越えそうであるとの事で、発生時期が遅れているのも特徴です。猛暑と厳冬、ゲリラ豪雨に 10 月の真夏日等、所謂異常気象も近年特に多くなったと感じております。私たちは東日本大震災とそれに伴う福島第一原発の事故により、自然災害の恐ろしさと、原発の安全神話の崩壊を経験しました。原発事故は何としても克服しなければなりません、自然をコントロール下に置くのは今後も不可能なことです。

岩手県の沿岸部にある田老町 (現在は宮古市の一部) は度々津波で大きな被害を被っていました。明治 29 年の明治三陸津波、昭和 8 年の昭和三陸津波では町が全壊しました。その後町は巨大な防波堤を建設し、昭和 35 年のチリ沖地震による津波では防波堤により被害は少なくすみ、更にこの防波堤を増強し昭和 41 年には高さ 10 メートル、長さ 2600 メートルの「万里の長城」とも例えられる巨大防波堤が完成しました。田老町は防災の町を宣言し、人々は安心して沿岸部に家を構えるようになりました。しかし、3.11 の津波は町が誇った巨大防波堤を軽々と乗り越え、破壊してしまいました。実に悲しい歴史です。

さて、次週の例会は万燈まつりに振り替えとなっています。先日は加藤実行委員長の万燈まつりの打ち合わせが行われましたが、今年もチャリティーバザーと安納芋の販売を中心に行います。万燈まつりは社会奉仕活動であると共に広報の場でもあります。皆様方の積極的ご参加を宜しくお願い致します。



● 委員長報告

健康管理委員会

山根宏夫委員長

インフルエンザの予防注射を 11/7 に家族を含めて行ないます。又、肺炎球菌のワクチンを、まだされていない方は奥様も一緒に接種されると良いと思いますのでご希望の会員さんは是非教えてください。ロータリー料金で実施致します。

ロータリー財団委員会

齋藤栄作委員長

ロータリーカードは毎日のお買い物や公共料金のお支払いで、財団活動に貢献できるカードです。多くの方の入会をお願いいたします。もう一点、12/12 の例会後 7 階にて 2 時 30 分から 2 時間に亘って入間基地司令の田中様の講演会があります。中々聞けない素晴らしいお話しになっておりますので、是非ご都合をつけてご参加下さい。

米山記念奨学委員会

宮崎正文委員長

今月は米山月間です。先ほど寄付のお願いに回らせて頂き、ありがとうございます。これからもご協力よろしくお願い致します。

万燈まつり実行委員会

加藤国夫委員長

チャリティーバザーの品物が未だ余り集まっておりますので、当日でも構いませんので持ち下さい。万燈まつり準備の為、事務局は 25 日出勤、28 日お休みとなります。又、初日は 11 時、2 日目は 9 時集合となっております。テント設置と片付けのご協力も宜しくお願い致します。

< 出席報告 >

木下登出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
39 名	27 名	71.0%	89.7%

事前欠席連絡 5 名

< ニコニコ BOX >

滝沢文夫 S A A

石川嘉彦君、加藤国夫君～齋藤金作会員卓話宜しくお願い致します。

本日 ¥2,000

累計 ¥309,00

会員卓話

「日本ロータリーの創始者 米山梅吉とその周辺」

齋藤金作会員

米山梅吉さんは、明治元年2月4日に東京芝田村町で、士族・和田竹造の三男として生まれております。お母さんは伊豆三島神社の娘さんです。お父さんが5歳の時亡くなったため、米山さんはお母さんの実家・三島に帰り、神童の誉が高かったといわれる彼は、米山家に懇望され養子となったのです。明治21年アメリカに渡りオハイオ州、ニューヨーク州の大学で法学を勉強し8年間の苦学の末、帰国。当時73歳の勝海舟と師弟関係を結び、翌年の明治29年には米山はるさんと結婚されました。



大正期、日本政府は「日本帝国政府特派財政経済委員会」を編成して視察団を大正6年から大正7年にかけてアメリカへ派遣、そこで米国テキサス州ダラスで、ダラス・ロータリークラブ会員であつた福島喜三次氏からロータリーのことを聞き、大いに心を動かされて帰国し、2年後の大正9年に帰国した福島氏とともに、東京でロータリークラブの設立に努め、24名のメンバーで、新クラブを創設しました。9月1日に設立準備会が開かれ、同年10月20日東京銀行クラブで創立総会が開催され、東京クラブが誕生しました。なお、RIから正式に認証されたのは1921年4月1日になってからです。続いて「大阪ロータリークラブ」が設立されました。

遠い遠いアメリカ・シカゴの地で呱呱の声をあげた小さな組織体が東洋の日本という小さな島国に上陸し、その首都東京に初めて設立され、今、当時を振り返ってみれば開拓された、アメリカに新しく生まれてデモクラシーを標榜する社会では、それを健全に守るには、何よりも仲間意識が大切であるが、長い封建鎖国の時代から明治維新を経て、大正デモクラシーといわれても、それはほんの上辺だけで旧態依然たる日本人々が理解し、受け入れることは誠に容易な事ではなかったと思う。これを100%承知の上でこれを超越し、幾多の高いハードルを飛び越えて、受け入れ、無から1つの組織を作り上げた先人達の勇氣、叡知、高邁な精神力と緻密な方策については高く評価するべきであって、私は今生きるロータリーの1人として深く敬意を表すと共に大きな拍手を送るものである。

東京RC創立3年後に発生した関東大震災では、世界各国503RCから89,800ドルという多額の義援金、救援物資が、大阪RCを経て続々と送られてきました。時は移り、昭和初期未曾有の世界大恐慌が発生、ロータリーも膨大な被害を蒙り、多くの仲間を減らす結果となったが、反面想いも寄らぬ大きな収穫を得ている。それはシカゴのロータリアンハーバートJ. テーラーが4項目からなるモラル向上の方法として職業奉仕にふさわしい短い職業倫理訓を草案。この指針「4つのテスト」は、窮地にあった彼の会社を救うのに役立ったのです。ロータリーの根幹であるとされる職業奉仕について、その神髄は何か?と問われるならば「私は迷うことなく、それは己の携わる職業について常、日頃から倫理基準を高めるべく努力する事である」と答えます。

戦時色が次第に濃くなるに従い、ロータリー・クラブに対し、軍部や右翼から妨害や圧迫が加えられるようになり、1940年(昭和15年)に、日本のRCは国際RCから脱退しました。当時日本には37クラブがありましたが、その多くは、脱退後も、例えば「〇〇曜会」などの名称で会合を続け復帰まで、このような形で存続していました。第2次世界対戦中に国際ロータリーから脱退した日本のロータリーは、1949年に復帰しましたが、残念ながら、米山梅吉氏、福島喜三次氏はそれを待たずに、この世を去りました。翌1947年1月にはポール・ハリスも78才の天寿を全うします。

米山さん没後、昭和27年、東京クラブは53名の各界代表の有力者が委員となって東洋諸国の学生を日本に留学させる奨学金制度が米山初代会長を記念するために企画され、軌道に乗せられ今日に至っている。これが現在の日本最大の民間奨学事業「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」である。



■回覧、配布物

- ① ガバナー月信 2013 Vol. 4
- ② いるま社協だより No. 160
- ③ 11/29 地区大会出欠表
- ④ 10/26, 27 万燈まつり出欠表
- ⑤ 10/31 万燈まつり慰労夜間例会出欠表
- ⑥ ハイライトよねやま 163
- ⑦ 本日の卓話資料(米山梅吉とその周辺)
- ⑧ 他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ⑨ 週報 13号 14号。

会報委員会 (関谷・平岡・忽滑谷)